

JA提出書類

書類名

◆ 大麦資材注文書

◆ 水稻生産記録

**提出期限が過ぎています！
提出できていない方は至急、各営農経
済センターへ提出お願いします！！**

農政情報

経営所得安定対策【ナラシ対策】

● 令和2年度収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）積立金納付期限

8月31日(月)

【ナラシ対策振込先】

**期限は
8月31日(月)です。**

納付期限までに納付先口座に入金が確認できなければ、収入減少影響緩和対策に加入できなくなりますのでご注意ください。

金融機関名	滋賀県信用農業協同組合連合会 (3025)
支店名	本所 (061)
種 目	普通
口座番号	0012893
(フリガナ)	(シガケンノキヨサセトキヨキカイ)
口座名義	滋賀県農業再生協議会
住 所	大津市松本1丁目2-20

令和3年産大麦の播種前契約の確認について(お願い)

令和3年産大麦の播種前契約に基づいた生産をお願いします！

大麦は令和2年産での管内全面転換が完了したところです。事前の播種前契約面積に基づいて、需要量を過不足なく確保するための努力を行っていますが、令和2年産大麦では事前の播種前契約を大幅に超過して作付されるケースが多くみられ、播種前契約に基づき確保した需要量を大幅に超える過剰作付となりました。

つきましては、現在、今春に契約していただいた令和3年産大麦(今秋まき)の播種前契約面積を案内し、過不足なく契約どおりの作付をいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます！



地場検査の変更のお知らせ



- 1. 検査は毎日行います。**
➡今年から事前の地区別検査計画や検査日を設けていません。出荷当日から4営業日以内に随時検査を行います。
- 2. 受検カードは発行いたしません。**
➡検査後に発送される「米穀販売代金精算通知書兼農産物検査結果通知書」で検査袋数、検査等級、買取金額等の内容をご確認ください。
- 3. 下見米のご提出は不要です。**
➡これまでは、下見米を事前に分析することで、あらかじめ計画された検査日にまとまった数量の検査を効率的に実施してきました。今年からは、出荷当日からの随時検査を行いますので、下見米のご提出については“不要”とさせていただきます。

水稻病虫害情報

病虫害注意報が発表されました！

◎斑点米カメムシ類(主にクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ)の発生が多い傾向にあり、今後、出穂期を迎える中生・晩生品種への懸念がされます。収穫前日数・使用回数を確認したうえで適期防除しましょう！
防除適期は糊熟期頃(出穂10~20日頃)。
ただし、カスミカメムシ類が確認できるほ場では乳熟期頃(出穂7~10日頃に防除しましょう)。

クモヘリカメムシ



イネカメムシ



ホソハリカメムシ



被害粒



※使用例 スタークル粒剤 収穫7日前まで 3kg/10a

いもち病が発生しやすい天候です！

◎いもち病の感染好適条件が出現しており、ほ場での発生状況を確認し、発生が認められたら収穫前日数・使用回数に気をつけ、防除を行う！ ※プレミアム米・スタンダード米の圃場で発生した場合、お近くの営農経済センターへご相談ください！



	農薬名	使用時期
治療剤	ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで

刈り遅れに注意し、適期に収穫しましょう！

入水は、収穫に支障のない範囲で収穫直前まで！

生育状況と収穫適期

水稻の生育は、7月の気温が低かったことから、平年並からやや遅くなっています。しかしながら、今後、気温の高い日が続くと登熟期間が短くなりますので、収穫が遅れないよう出穂後30日を過ぎたら収穫・調製の準備をしましょう。

収穫時期の目安

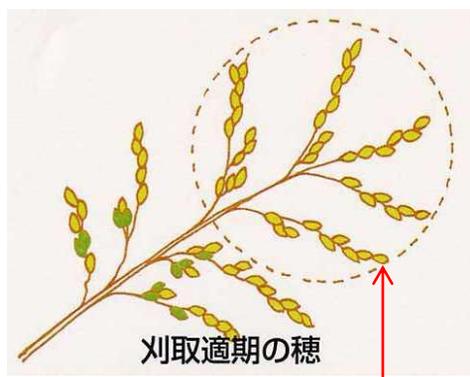
	田植時期	出穂期	収穫適期予想 (登熟期間 32~34日)
コシヒカリ	5月上旬	7/29頃	8/30頃
	5月中旬	8/2頃	9/3頃
みずかがみ	4月下旬~ 5月上旬	7/23頃	8/24頃

※気温の推移や地域や稲体の栄養状態により成熟期の遅速があるので、ほ場で籾の黄化率を確認してから刈取り作業を行いましょう。

収穫時期の判断

収穫時期が近づいたら田んぼに入って、籾の黄化を確認しましょう。

- 籾黄化率50%で、収穫7日前
- 籾黄化率85~90%
(みずかがみは90%)で、収穫適期



上から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃

収穫までの水管理

落水時期の目安は収穫の5日前です。

白未熟粒や胴割粒の発生を防ぐため、収穫に支障のない範囲で、できる限り落水を遅らせましょう。

熱中症アラート！！

今年も記録的な猛暑に見舞われています！！

作業は気温の高い時間帯を避け、こまめな塩分・水分補給や休憩を行いましょう！



大豆情報

除草剤紹介



上手な使い方

- 10アールあたりの推奨薬量250mℓを、100ℓの水で希釈して散布してください。
- 雑草の葉が全体が濡れるくらいに、しっかりと散布することがポイントです。
- 登録作物にかけても大丈夫です。
- 農着剤を加用する必要はありません。加用しなくても十分な効果が得られます。

注意
大きくなったイネ科雑草の葉齢は判別しにくいので、下の表を参考に、散布適期を誤らないよう注意してください。

■葉齢と草丈の目安

	8葉期	10葉期
ノビエ	約30cm	約50cm
メシバ [®]	約20cm [†]	約30cm

※メシバは発生初期、直立せず葉方向に生育することが多いのでまき漏れには注意してください。



作物名	適用雑草名	使用時期	使用回数	10aあたり使用薬量	10aあたり希釈水量	使用方法
だいず	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期 (イネ科雑草の3~10葉期) 収穫30日 まで	1回	200~300mℓ	通常散布 50~100ℓ 少量散布 25~50ℓ	雑草茎葉散布又は全面散布

大豆バサグラン[®] 濃剤

作物名	適用雑草名	使用時期(※)	使用回数	10aあたり使用薬量	10aあたり希釈水量	使用方法
だいず	一年生雑草(イネ科を除く)	だいずの2葉期~開花前 (雑草の生育初期~6葉期)但し 収穫45日前 まで	1回	100~150mℓ	100ℓ	雑草茎葉散布又は全面散布
		だいずの生育期 (雑草の生育初期~6葉期)但し 収穫45日前 まで		300~500mℓ		畦間雑草茎葉散布

※使用方法によって使用時期が変わりますのでご注意ください。

病虫害防除

- 大豆は子実害虫の食害による減収や品質低下が著しいため、薬剤防除は必要不可欠な作業です。
- 莢が付き始める**8月中旬から9月中旬にかけて10日おきに4回の薬剤防除**を徹底します。
- 薬剤の散布には専用噴頭を用いるなどして葉の裏や莢に薬剤が十分かかるようにします。

(10aあたり)

防除時期	薬剤名	散布量	対象病虫害
8月中旬	トレボン粉剤DL	4kg	カメシ類、シロイチモンジマダラメイガ [®] 、ダイズサヤタマハエ、マメシクイガ [®] 、ハスモンヨトウ、フタジヒメハムシなど
8月下旬	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg	マメシクイガ [®] 、カメシ類、紫斑病
9月上旬	スミチオンベルコート粉剤DL	3kg	マメシクイガ [®] 、カメシ類、紫斑病
9月中旬	ロムダン粉剤DL	4kg	ハスモンヨトウ

うね間かん水の判断の目安

開花期以降に晴天が1週間程度続けば、うね間かん水を行います。土が白く乾き、葉が反転してきたら、数回に分けて徐々に(水口付近の湿害を防ぐため)明渠にかん水しましょう。

農作業中の熱中症に注意しましょう!

～熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます～

暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です!



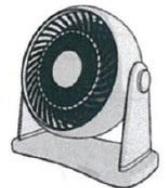
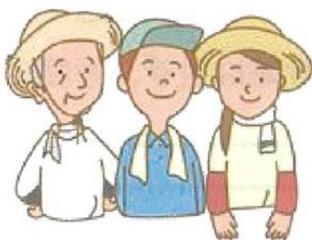
[暑さをしのぐ服装]

- 帽子の着用
- 通気性の良い衣類の着用



[水分補給]

- こまめな水分補給
- 気温の高い時間は作業をしない
- こまめな休憩



[熱中症になりにくい室内環境]

- ハウスや畜舎等の換気
- 遮光や断熱材の施工等による温度上昇の防止



熱中症になった時の処置は・・・



1. 涼しい場所に避難させる
2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす
3. 水分を補給する
4. 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう



注意していただきたいこと・お願いしたいこと

①暑さの感じ方は人によって異なります！高齢の方は特に注意が必要です！

- ・ 熱中症患者の約半数は65歳以上の方です。年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下しています。
- ・ 自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心懸けましょう。
- ・ のどの渇きを感じていなくてもこまめな水分補給をしたり、暑さを感じなくても、日陰等を利用し、こまめな休憩をとるよう心懸けましょう。



②まわりが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です！

- ・ 一人作業を極力避け、二人以上での作業を心懸けましょう。熱中症の予防を呼びかけ合うことで、熱中症の発生を防ぐことができます。

③節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください！

- ・ 節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。
- ・ 気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

農作業時の熱中症予防チェックシート



熱中症が原因でめまいなどを起こし、
トラクター転倒などの重大事故につながることもあります！
下記の項目をチェックして、熱中症に注意しましょう！

天気や気温を確認しましたか？

出かける前にならず天気予報を確認しましょう。急に暑くなる日は熱中症の危険が高くなります。梅雨明け直後は要注意です。風が弱い日や、湿度が高い日は熱中症にかかりやすくなります。

体調は万全ですか？

体調不良（二日酔い・寝不足・風邪気味）の時は熱中症の危険度が増します。

朝ごはんは食べましたか？

朝食で取るべき栄養分と水分をきちんと取りましょう。

涼しい服装を選んでいますか？

服装は、日差しを遮り、汗を逃がしやすいものを着ましょう。吸汗・速乾性に優れた素材の服がオススメです。

日差しを遮る帽子はありますか？

つばの広い帽子をかぶり、直射日光を遮りましょう。

飲み物は持ちましたか？

水分補給をこまめにとりましょう。特に高齢者は水分不足や暑さを感じにくくなっているため、喉が渇く前に積極的に給水しましょう。大量に汗をかく場合は、塩分も補いましょう。

二人以上での作業ですか？

一人で作業中に熱中症になると、助けてくれる人がおらず重症化するおそれがあります。できる限り二人以上で作業をし、体調不良時は我慢せず不調を伝えましょう。

作業場所は熱がこもりませんか？

ハウスや畜舎など気温が上昇しやすい施設内での作業は、風通しをよくしましょう。室内の換気をして、熱がこもらないようにしましょう。

作業計画に無理はありませんか？

涼しい時間帯に作業をしましょう。もし暑い時間帯に作業するときは、休憩をこまめに、作業時間を短くなどの工夫を。

緊急連絡先を知っていますか？

いざというときのため、緊急連絡先を持ち歩きましょう。具合が悪くなったら無理せず、医療機関にかかりましょう。